

2023年3月10日
JX金属商事株式会社

信州大学工学部と包括連携協定を締結 ～循環型社会の実現に向けて～

JX金属商事株式会社（社長：鈴木章仁、以下「当社」）は、2023年3月8日、信州大学工学部との包括的連携に関する協定締結の調印式を開催いたしました。当社は環境対策を経営の重要課題の一つと位置づけ、様々な取り組みを行っています。今般の包括的連携協定により、相互の資源を有効に活用し、「ソルガムを軸としたカスケード型脱炭素社会の実現」を目指した活動を推進してまいります。

連携活動として、以下のようなテーマを想定しています。

- ① ソルガム栽培による耕作放棄地の再生及び地域経済の活性化
- ② ソルガム茎葉及び農産物未利用物のバイオ燃料化（食用部分は除く）
- ③ ソルガムの栽培によるCO₂削減及び固定化

これらテーマについて、研究成果の社会実装を推進するとともに、レジリエントなコミュニティ形成の実現並びに人材の育成に寄与する連携へも取り組んでまいります。

連携活動においては、産学連携で一般的に行われる企業ニーズと大学シーズのマッチングによるクローズ型共同研究のみならず、自治体、教育機関、企業、農業団体、農業従事者の方々とも広く交流し、オープン型の課題設定・解決も推進する予定としております。当社はこの研究活動に賛同し、支援するものです。



写真左から：

JX金属商事 鈴木社長、信州大学 天野工学部長



記者会見に答える鈴木社長

<ソルガムについて>

ソルガムはイネ科の1年草で、モロコシ、タカキビ、コーリヤン、などとも呼ばれています。

乾燥に強いことから、雨量が少ない地域でも栽培できる貴重な穀物です。広がり続ける耕作放棄地や農家の高齢化という問題の解消につながると考えられています。

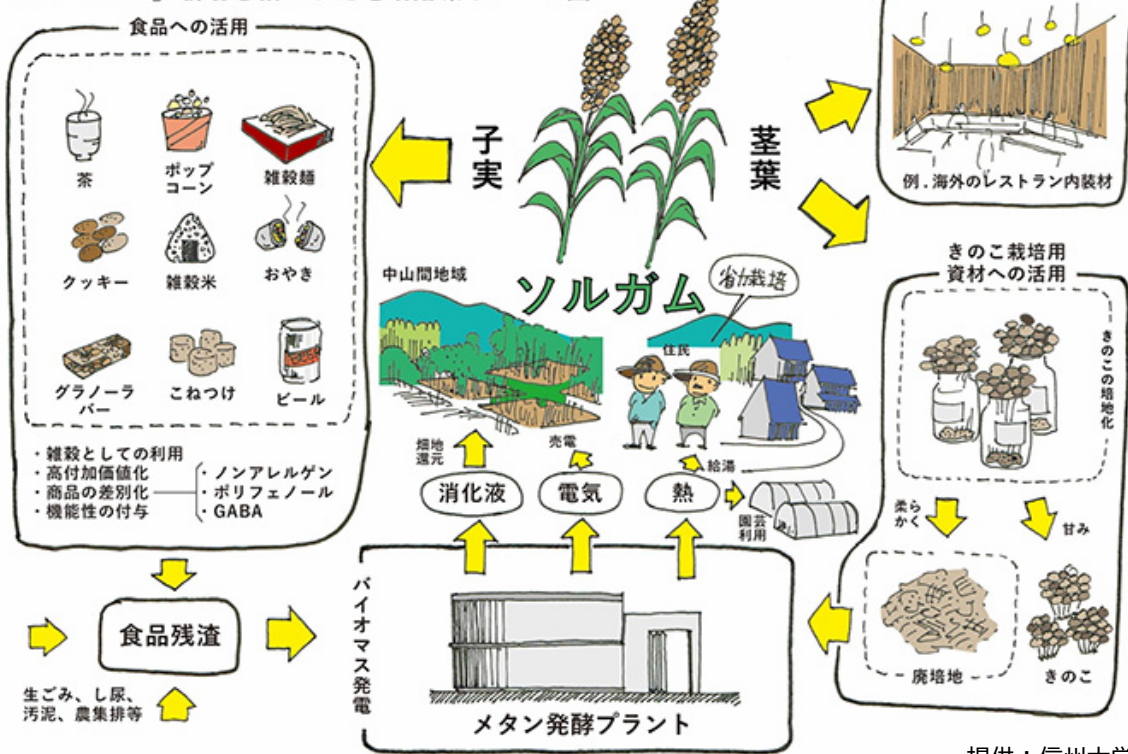
原産地はアフリカで、日本へは遅くとも14世紀ころには伝来したといわれています。



子実は、グルテンフリー、アレルギーフリー食材として注目されています。

茎葉は、建材やキノコの培地として活用できます。そして、使用後の培地を固形バイオマス燃料に転換するなど、資源を余すことなく多段階で利用することができ、持続可能な社会に寄与します。

■「ソルガム」栽培を軸にした地域循環イメージ図



提供：信州大学

本件に関するお問い合わせ先
J X金属商事株式会社 総務部
電話番号 03-5368-3150

信州大学 学術研究・産学官連携推進機構
電話番号 026-269-5717